

認知症に関する活動計画（概要）

山形県作業療法士会では、コロナ禍における作業療法の有効活用の促進に向けた取り組みとして、一般介護予防事業「認知症出前講座」、一般公開講座「認知症フォーラム」のオンライン開催を計画している。また、認知症研修事業としては、地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士として活躍できるように、「認知症基礎研修会」、「認知症対応力向上研修会」の開催を計画している。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

一般向け認知症作業療法パンフレットの紹介を県士会ホームページやSNS等に掲載し、認知症の理解を深めるための情報発信と希望者にはパンフレットの配布を行う予定。



認知症の人と家族の会との連携事業

オンラインを活用した認知症フォーラムにおいて、家族の会世話人による活動紹介や認知症の人と家族の会が、本年6月に発行した「認知症のある生活に備える手引き」の紹介を検討している。



認知症作業療法啓発事業（士会独自の取り組みなど）

認知症初期集中支援チームの普及啓発として、一般向けの研修会用にパワーポイントで作成した資料の内容を見直し、より分かりやすく使いやすいものに改善していく。また、他県でチーム員として活動している作業療法士からもアドバイスをもらい、より充実した内容を目指す。

総合事業推進に関する事業として、山形県事業（通いの場リーダー研修）・山形市委託事業（フレイル予防教室）・その他依頼事業（転倒予防講習等）で、依頼内容が「認知症予防」でない場合も、対象に合わせ「認知症予防」の内容を取り入れデータやパンフレットも活用している。



一般向け認知症作業療法パンフレット

COVID-19の影響・対応など

対面での認知症予防教室等の開催が困難な状況が続いているが、オンライン開催の依頼もあり、対応している。県「デジタル通いの場事業」のタブレット端末活用によるオンライン参加の通いの場で、リレー形式で自己紹介・他己紹介する交流系プログラムの有用性、コグニサイズ等リズム系のプログラムが音のずれにより実施に工夫が必要なことなど、行政や参加者の協力を得て確認、試行錯誤しながら取り組んでいる。